保管用

IWASAKI smarthome

施工時のご注意

照明器具・換気扇
（引き紐連動シャッター付き換気扇は除く）

屋内用

施工者様へのお願い

本製品の取付けは、電気設備技術基準に従って、工事店、電器店（有資格者）が行ってください。
一般の方（無資格者）の工事は法律で禁止されています。
工事後、この説明書及び安全上のご注意は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

禁止源の接続禁止

① 本製品に接続した電気器具・機器類の突然の稼働によって負傷するおそれがある場合、および周囲が発火するおそれがある場合は、本製品への接続を禁止します。

② 事情や危険を知らずに容易に触れられる環境では、突然の稼働によって負傷するおそれのある次の電気器具・機器類への接続を禁止します。

- 電気ストーブ、電熱器具、扇風機、シーリングファン、ライティングダクトなど、遠隔操作により感電・事故・障害の原因となる恐れがある機器。
- USB やサービスコンセントなどのアウトレットが存在し、遠隔操作した場合に接続の安全が確認できない機器。

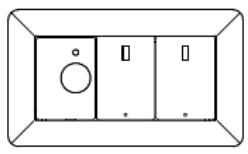
■ 製品概要

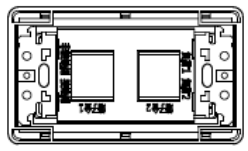
形　式	仕　様	定 格 仕 様
LINK－SS01 （本体）	人感センサ付き	AC100［V］、1 極 2 回路用 定格周波数： 50[Hz]／60[Hz] 1 回路当りの接続負荷容量： 4［A］／400［W］相当 （始動時 8［A］）以下 ※負荷容量が 1［W］以下の場合は動作不良が起こる可能性があります。 使用周囲温度範囲： －10℃～＋40℃ 使用周波数：2.4[GHz]（5[GHz]は使用できません。） 電波強度：-70［dB］以上 人感センサ検知は片側概ね 45 度（両側で 90 度）範囲です。
LINK-B01 （鋼製ボックス）	埋込みボックス	鋼製　黒色塗装　＜別売＞

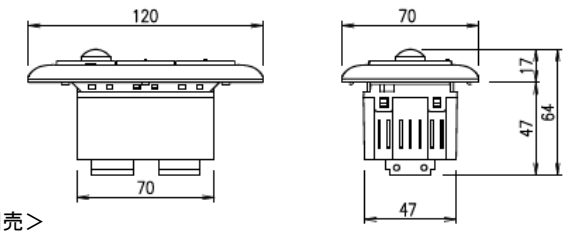
マークについて 本製品は、「特定小電力局の無線設備（テレコントロール用）」技術基準に適合しています。製品に貼付けられている マークはその証明です。 マークの貼付けられている製品は、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。 **＜改造すると法律により罰せられることがあります。＞**

■ 外形寸法

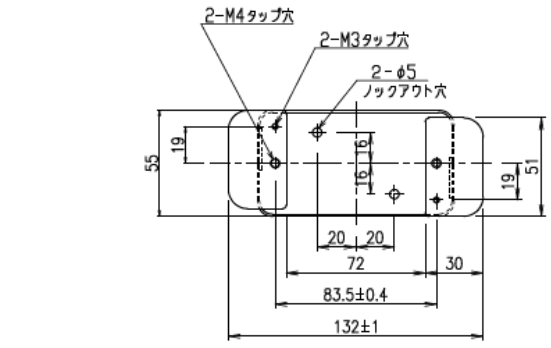
① LINK－SS01（本体）

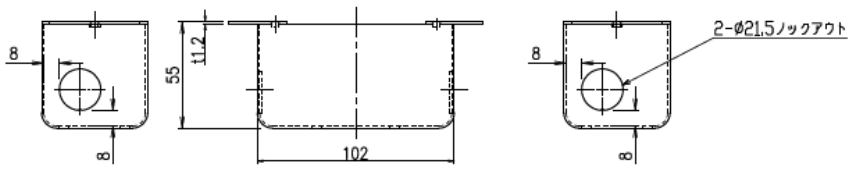






② LINK-B01（鋼製ボックス） ＜別売＞



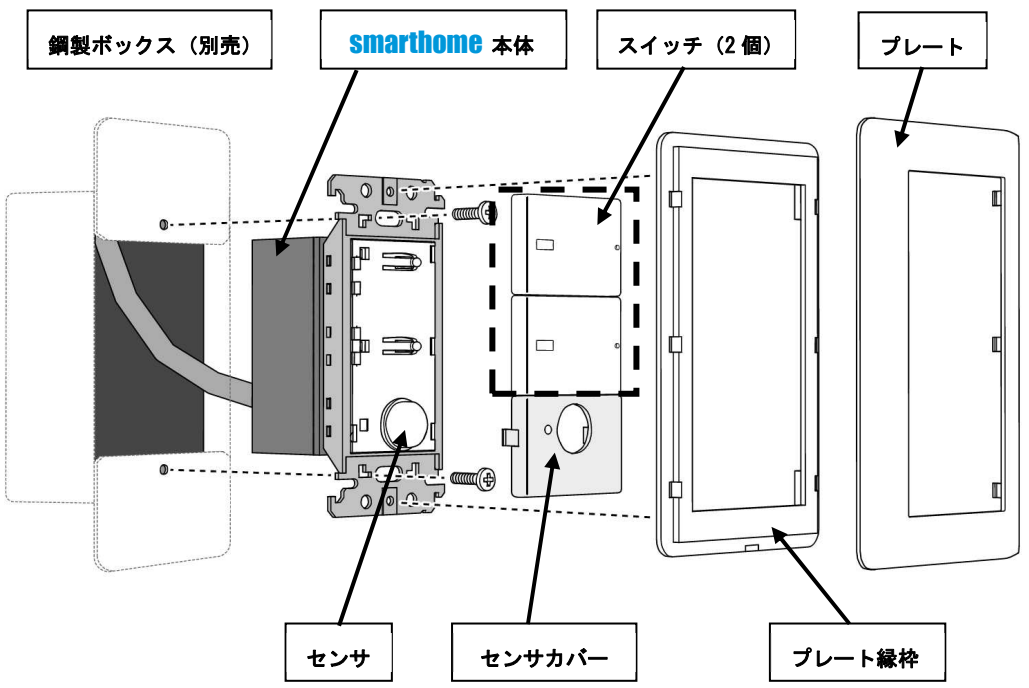


お客様へのお願い

ご使用になる前に、この説明書及び安全上のご注意を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後、この説明書及び安全上のご注意は大切に保管し、必要なときにお役立てください。

説明書は事前案内なく適宜更新いたします。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

■ 構　成



図－1

■ 取付方法

① 鋼製ボックス（別売）を使用する工事の場合、壁の内側にボックスをいれてください。（図－1 参照）

鋼製ボックスは専用品（別売）をご使用ください。壁材の厚さにもよりますが、一般市販品は深さが不足することがあります。（外形寸法図参照：壁の内側で 5[㎝]以上必要）

※固定用支持枠（一般市販品）をご使用の際は、鋼製ボックスを壁の内側に入れた後、外側から固定用支持枠ねじで固定してください。

※鋼製ボックスを使用しない工事の場合は、市販されていますはさみ金具などで本体を壁に固定してください。

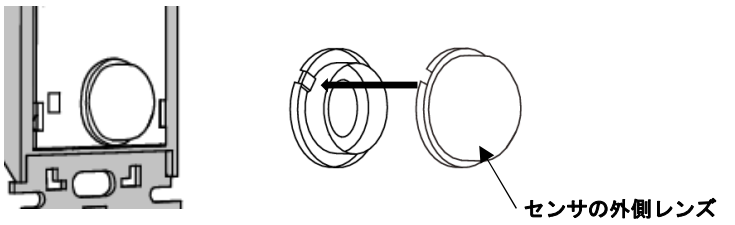
② 一次側（入力側）および二次側（出力側）のケーブルが単心φ１．６mmまたはφ２．０mmであることを確認してください。サイズが違うと端子台に挿入できません。不確実な工事の場合、火災や不具合の原因となります。ケーブルのむき代は 12mmです。

③ 一次側、二次側のケーブルを配線図に合わせて端子台に挿入してください。最後に抜けや緩みのないことを確認してください。不確実な工事の場合、火災や不具合などの原因となります。

④ 鋼製ボックスに本体を取付けてください。（図－1 参照）

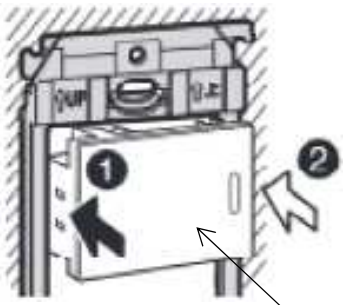
※センサは出荷時にカバーが外れないようにテープで留めていますので、テープをとってから取付けを行ってください。

※センサの外側レンズが外れた場合は図－2 のように溝をあわせて取付けてください。



図－2

⑤ スイッチのプレートを「❶ ➡ ❷」の順で取付けてください。（図－3 参照）

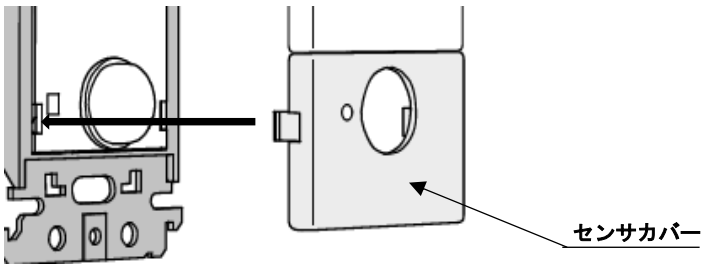


図－3

注記
1) スイッチのプレートの取付時に❷側を先に入れると❶側が入り難かったり、挿入不具合となり、スイッチ自体の動作不良になる事があります。
2) スイッチのプレートを取付た後は動作確認をし、動作に異常を感じた場合は再度スイッチのプレートを入れなおしてください。

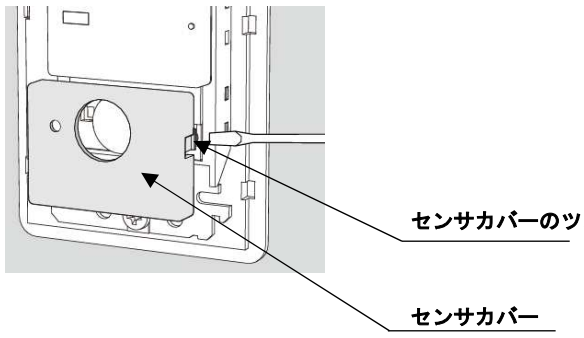
⑥　センサ部分に同梱していますセンサカバーを本体スリットに合わせて差込んでください。

センサカバーは外れ難くいため、出荷時は外して同梱しています。



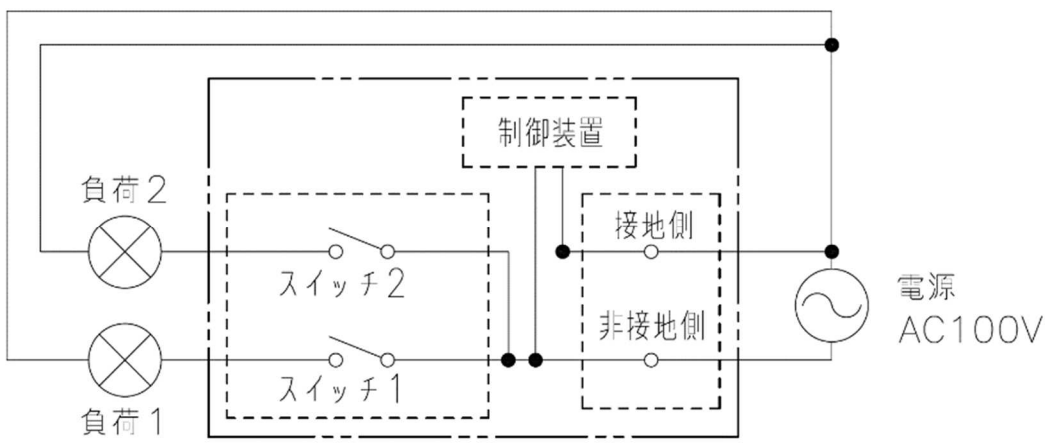
図－4

※センサカバーを外す場合は下図のように両サイドのツメをドライバー等で少し押して引っ掛かりを解除して外してください。強く押すとセンサカバーのツメが破損しますので注意してください。

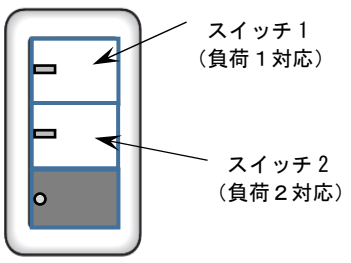


図－5

＜内部回路図＞



＜スイッチ位置図＞

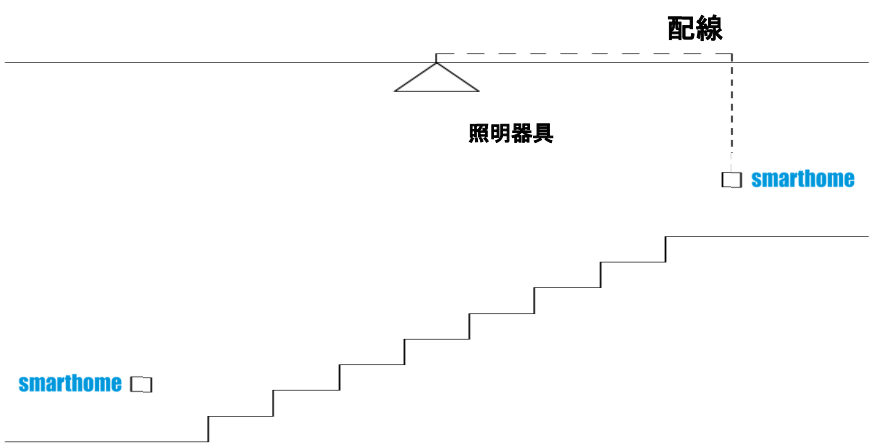


＜2ヶ所以上で操作を行う場合＞

階段などの２ヶ所以上で操作する場合、動作は従来と同様にどこからでも可能ですが、負荷への配線は何れかの１ヶ所から行ってください。

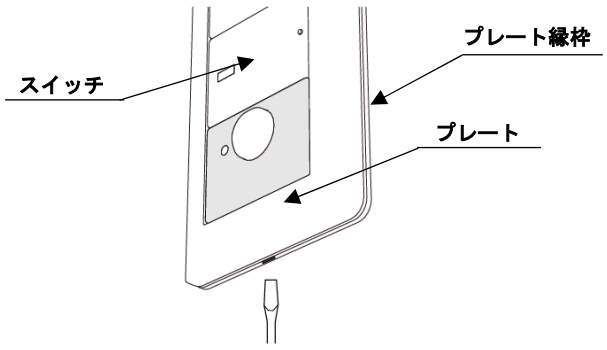
※動作は別途アプリで設定を行ってください。

　スイッチ同士を連携するように設定してください。



⑦　本体に付属のプレート縁枠及びプレートを取付けてください。

※出荷時はプレート縁枠及びプレートは組立てていますので、図－6 のように隙間にドライバーなどを差込んで外してください。



図－6

⑧　電源（AC100V）を入れると接続確認のためにスイッチに接続されている照明器具等の負荷が一斉に「ON」状態となります。

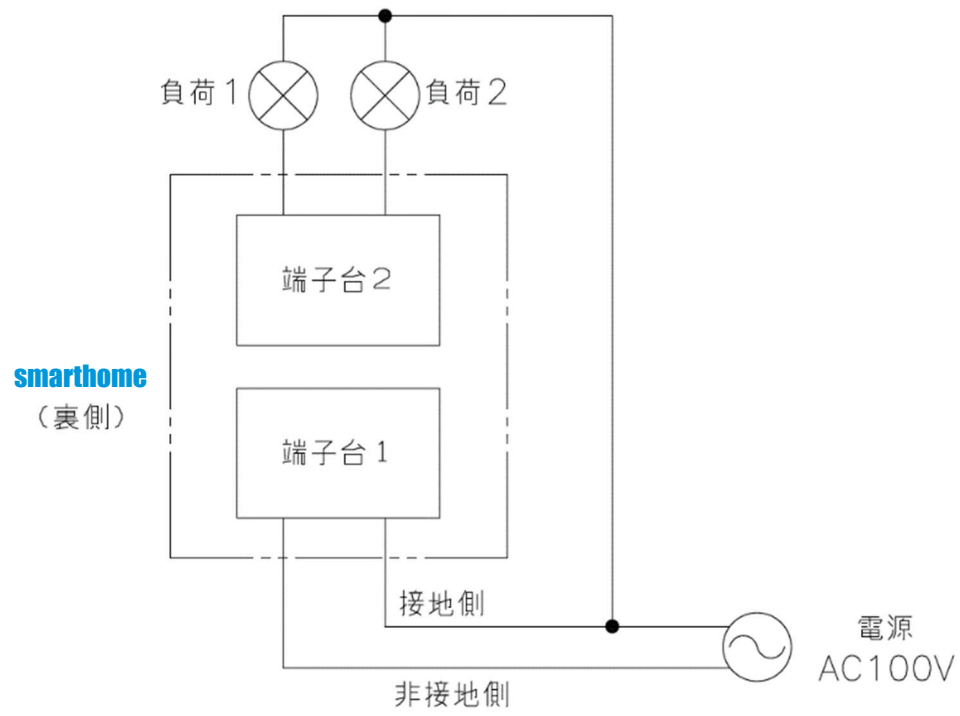
⑨　手動でスイッチを押し、「ON／OFF」の動作を確認してください。

⑩　スマートフォンやタブレットなどで専用サイトからの遠隔制御の設定・確認をしてください。

⑪　Wi-Fi（無線 LAN）がつながれば人感センサの横の表示ランプが点灯しますので、確認してください。

※設定ができるまでは点滅しています。

＜配線図＞



＜三路スイッチ配線図（例）＞

